

2010年3月期 第2四半期決算短信添付資料（決算説明会資料）

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、
財務諸表の数値と異なる場合があります。
※詳しくは各スライドの脚注をご覧ください。



2010年3月期 第2四半期実績



2010年3月期 第2四半期全社実績 : Executive Summary

- 国内たばこ販売数量減、海外たばこ事業における為替影響により減収減益
- 国内たばこ事業は、当初想定通りに推移
- 海外たばこ事業は、単価上昇効果により為替中立ベース*ではドルベースEBITDA11.7%成長

*前年度の為替レートを適用した場合

3



全社業績 : 2010年3月期 第2四半期実績

(単位: 億円)	2008 4-9月期	2009 4-9月期	増減				
税売上高*	11,413	9,867	-13.5%				
EBITDA	3,453	2,793	-19.1%				
営業利益	2,045	1,637	-20.0%	参考			
経常利益	1,513	1,351	-10.7%	<のれん償却前>	2008 4-9月期	2009 4-9月期	増減
純利益	694	660	-4.9%	営業利益**	2,578	2,133	-17.3%
				経常利益**	2,046	1,847	-9.7%
				純利益**	1,227	1,156	-5.8%

- 国内たばこ販売数量減、海外たばこ事業における為替影響により売上高13.5%減、EBITDA19.1%減
- 経常利益、純利益は、営業外損益および特別損益の改善により減少幅が縮小

*国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他 及び
海外たばこ事業における物流事業、Private Brand、製造受託、その他を控除
**のれん償却影響除き

4



国内たばこ事業 : Executive Summary

- 主に販売数量減により減収減益
- JTシェアは、2008年度 上期比較では0.1ppt増の65.0%
- 注カブランド*のシェアは堅調に成長
- 第2四半期販売数量は5.2%減少し、ほぼ計画通り
 - 08年度taspo導入前の在庫積み増し影響は解消に向かう

*マイルドセブン、セブンスター、ピアニッシモ

5



国内たばこ事業 : 2010年3月期 第2四半期実績

(単位: 億本, 億円)	2008 4-9月期	2009 4-9月期	増減
総販売数量	829	786	-5.2%
税売上高*	3,363	3,188	-5.2%
EBITDA	1,455	1,388	-4.6%
営業利益	1,056	1,108	+5.0%

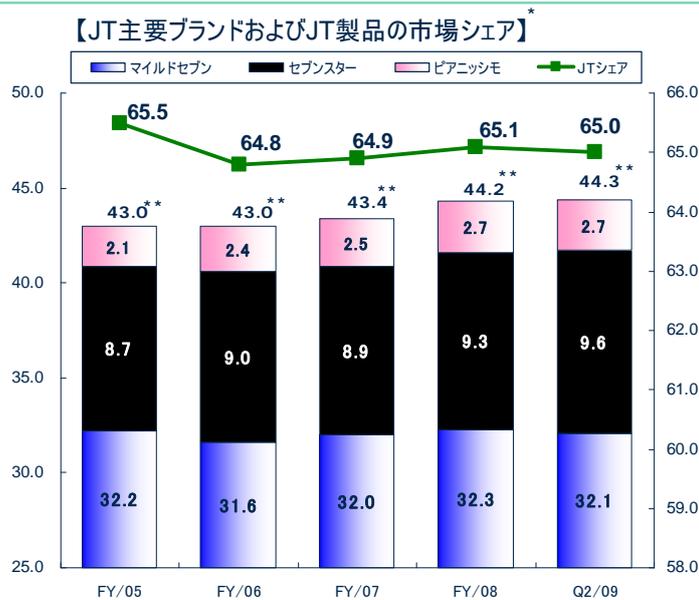
- 販売数量の減少に加え、原材料費の増加等により減収・減益だがほぼ見込に沿った実績

*輸入たばこ/国内免税/中国事業/その他を控除

6



国内たばこ事業：シェア動向



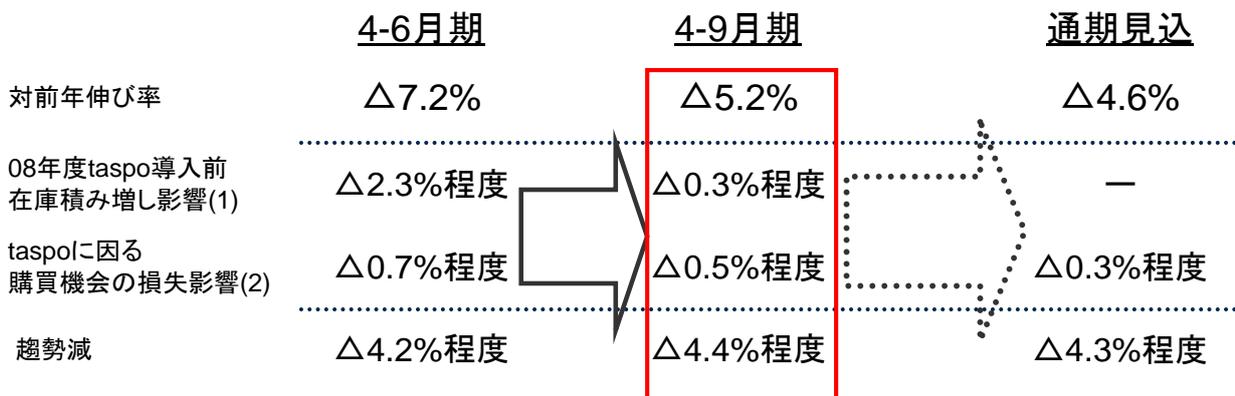
- JTシェアは2008年度 通期との比較では0.1ppt減だが、2008年度 上期比較では0.1ppt増の65.0%
- 対面販路での効果的な販促活動、新製品投入により注カブランドの合計では2008年度 通期との比較で0.1ppt上昇

*新ベース=JTオリジナルブランド + JTIの国内向け製品(キャメル・ウインストン・セーラム等)
**JT主要ブランド合計



国内たばこ事業：taspo影響

《2009年度 数量減推移》



(1)一時的要因であり、通年では影響が解消する
(2)通年ベースでは影響は小さくなっていく

- 昨年の第1四半期で発生した在庫積み増し影響は解消に向かっている



海外たばこ事業 : Executive Summary-第2四半期実績

- 為替影響により減収減益
- GFB販売数量は1.8%成長も、上期総販売数量は0.9%の減少
- 単価上昇効果が成長ドライバーとなり為替中立ベース*では、税売上高+9.1%、EBITDA+11.7%

*前年度の為替レートを使用了した場合

9



海外たばこ事業 : 2010年3月期 第2四半期実績

(単位: 億本, 百万US\$)	2008 1-6月期	2009 1-6月期	増減
総販売数量*	2,180	2,161	-0.9%
GFB販売数量	1,192	1,213	+1.8%
税売上高**	5,096	4,552	-10.7%
千本当税売上高*** (US\$)	24.0	21.3	-11.5%
EBITDA****	1,860	1,505	-19.1%
【為替中立ベース】			
税売上高**	5,096	5,561	+9.1%
千本当税売上高*** (US\$)	24.0	26.0	+8.1%
EBITDA****	1,860	2,078	+11.7%

- 数量が弱含んでいるものの、単価上昇効果により為替中立ベースでは増収増益
- UK、トルコ、西欧主要国で好調なモメンタムが継続したものの、フィリピン、イラン、ウクライナ、ルーマニア、カザフスタンでの数量減により上期数量は0.9%減少
- 為替影響により減収減益

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

**物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除

***Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないJV販売数量を控除

****JTへのロイヤリティ支払い前

10



海外たばこ事業：第2四半期 為替変動の影響

	2008年 1-6月期 期中平均レート a	2009年 1-6月期 期中平均レート b	対実績レート 増減 b対a
RUB/USD	23.94	33.17	27.8%安
GBP/USD	0.50	0.68	26.2%安
EUR/USD	0.66	0.76	12.5%安
JPY/USD	104.89	95.59	9.7%高

(単位:百万US\$)	2008 1-6月期	2009 1-6月期	増減
ドルベースEBITDA*	1,860	1,505	-19.1%
(単位:億円)			
円ベースEBITDA**	1,849	1,302	-29.6%

- 円以外の主要通貨対US\$の為替影響によりドルベースEBITDA19.1%減少
- 上記に加え、円対US\$の為替影響により円ベースEBITDA29.6%減少

*JTへのロイヤリティ支払い前
**JTへのロイヤリティ支払い後

11



医薬事業：2010年3月期 第2四半期実績

(単位:億円)	2008 4-9月期	2009 4-9月期	増減
売上高	268	221	-46
EBITDA	2	△49	-51
営業利益	△15	△68	-52

臨床開発品目(2009年10月29日現在)

開発名	主な適応症	開発段階
JTT-705(経口)	脂質異常症	国内:Phase2
JTT-130(経口)	脂質異常症	国内:Phase2 海外:Phase2
JTK-303(経口)	HIV感染症	国内:Phase1
JTT-302(経口)	脂質異常症	海外:Phase2
JTT-305(経口)	骨粗鬆症	国内:Phase2
JTS-653(経口)	鎮痛、過活動膀胱	国内:Phase1
JTT-654(経口)	2型糖尿病	国内:Phase1 海外:Phase2
JTK-656(経口)	HIV感染症	海外:Phase1
JTT-751(経口)	高リン血症	国内:Phase2

海外でphase2に移行

- 鳥居薬品は増収・増益も、前年同期にマイルストーン収入があった事により減収・減益
- JTT-654が海外でphase2に進展

12



食品事業：2010年3月期 第2四半期実績

(単位:億円)	2008 4-9月期	2009 4-9月期	増減
売上高	2,334	2,008	-326
EBITDA※	34	84	+49
営業利益	△56	△56	0

※リース会計基準の変更影響を調整したEBITDA
 08年4-9月期:83億円⇒09年4-9月期:84億円(対前年同水準)



➤ チルド加工食品からの撤退及び一部子会社を連結対象外とした影響等により減収、EBITDAではリース会計基準の変更影響を除けば、対前年同水準

(このスライドは空白です)

2010年3月期 海外たばこ事業 1-9月期速報値



海外たばこ事業 : Executive Summary-1-9月期速報値

- 1-9月期の販売数量はイラン、ウクライナ、フィリピン、スペイン、台湾等での数量減により3.7%減少、GFB販売数量は1.7%減少
- 7-9月期ではイランの減速が加速した(△62.9%)こともあり、8.8%の減少
なお、総需要減少の影響からロシアは微減(△1.1%)に転じる
- 単価上昇効果により1-9月期の為替中立ベース*の税抜売上高は5.7%成長
- ほぼ全ての主要市場でのシェアは前年比較で増加

*前年度の為替レートを使用した場合

海外たばこ事業：2010年3月期 1-9月期速報値

<速報値 1-9月>

(単位:億本,百万US\$)	2008年		2009年	
	7-9月期	1-9月期	7-9月期	1-9月期
総販売数量*	1,201	3,381	1,096 (-8.8%)	3,256 (-3.7%)
GFB販売数量	663	1,855	610 (-8.0%)	1,824 (-1.7%)
【為替中立ベース】				
税売上高**	2,947	8,043	2,939 (-0.3%)	8,500 (+5.7%)
千本当税売上高*** (US\$)	25.1	24.4	27.1 (+7.9%)	26.3 (+8.0%)

- 増税や経済減速による総需要の減少、イラン、ウクライナ、フィリピンでの特殊要因により販売数量が減少
- 1-9月期のGFB販売数量は総販売数量ほどは減少していない
- トルコ、UK、イタリア、フランス等での販売数量は堅調に推移
- 1-9月期の為替中立税売上高は5.7%成長

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

**物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除

***Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込みの総販売数量から、売上高に計上していないJV販売数量を控除

17



海外たばこ事業：主要市場でのシェア

<速報値 1-9月>

	2008年 9月*	2009年 9月*
Italy	16.8%	18.1%
France	14.0%	14.6%
Spain	20.4%	20.5%
UK	39.2%	40.2%
Russia	35.5%	36.5%
Turkey	16.5%	18.4%
Taiwan	38.0%	38.7%

出典:AC Nielsen, Core EPOS及びJTI内部データ

- ほぼ全ての主要市場でのシェアは前年比較で増加

*12ヶ月移動平均

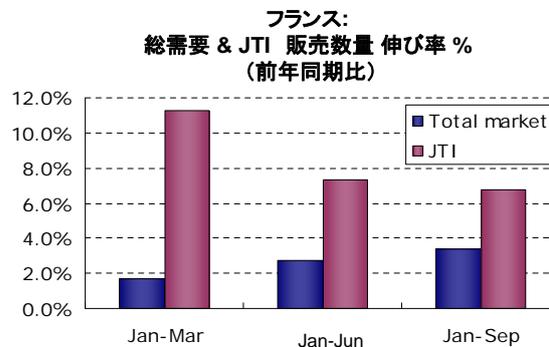
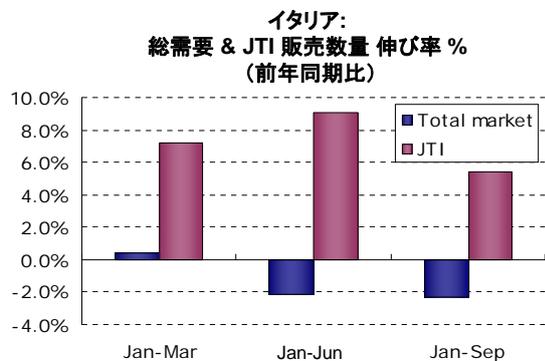
18



South & West Europe : スペイン総需要減少もイタリア・フランス好調維持

<速報値 1-9月>

(単位:億本)	2008 1-9月期	2009 1-9月期	増減
総販売数量*	503	493	-1.8%
GFB販売数量	427	426	-0.2%



- 主としてスペインの6月増税値上げ、景気後退による総需要減少の加速化により販売数量減も、GFB販売数量は前年並み
- イタリアとフランスでは成長モメンタム継続

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

19



North & Central Europe : UKでの数量モメンタムが牽引

<速報値 1-9月>

(単位:億本)	2008 1-9月期	2009 1-9月期	増減
総販売数量*	329	350	+6.4%
GFB販売数量	141	149	+6.2%

【販売数量伸び率: 前年同期比】

	1-3 月期	1-6 月期	1-9 月期
North & Central Europe	+3.0%	+6.5%	+6.4%
UK	+1.7%	+7.0%	+8.6%

- 3四半期連続で数量成長
- 高単価市場のUKで海外渡航者の減少により総需要の増加が継続

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

20

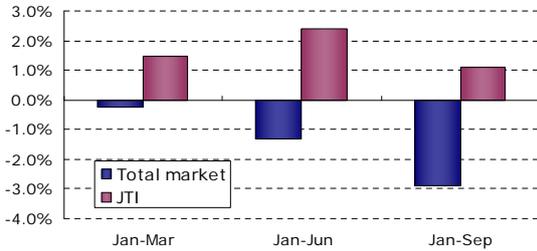


CIS+ : ロシアでの力強いシェア動向

<速報値 1-9月>

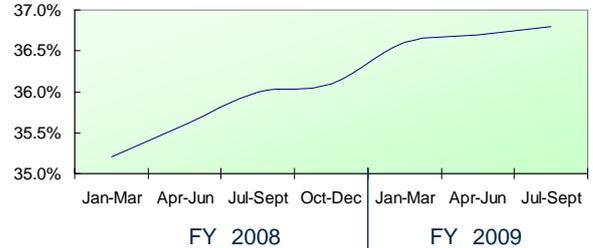
(単位:億本)	2008 1-9月期	2009 1-9月期	増減
総販売数量*	1,662	1,604	-3.5%
GFB販売数量	778	783	+0.6%

【ロシア 総需要 & JTI販売数量 伸び率%(前年同期比)】



出典:AC Nielsen

【ロシア JTIシェア**】



出典:AC Nielsen

- 1-9月期の販売数量は、ウクライナでのセールスポリシー強化、ウクライナ・ルーマニアでの増税値上げ・経済減速並びにカザフスタンでの経済減速による総需要減少影響により3.5%減少。
- 7-9月期の販売数量は6.5%減少。上記要因に加え、ロシアの販売数量が微減(△1.1%)に転じたことが影響
- ロシアでのダウントレーディングは続くが、充実したポートフォリオによりシェアは堅調に推移
- カザフスタンでは好転の兆し

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
**3ヶ月平均

21



Rest of the World : イランでの不安定な事業環境は継続するも、台湾は足元で回復基調

<速報値 1-9月>

(単位:億本)	2008 1-9月期	2009 1-9月期	増減
総販売数量*	887	809	-8.8%
GFB販売数量	509	465	-8.7%

【イランにおける不安定な事業環境】

- ・写真付注意文言(PHW)の導入による影響
- ・大統領選挙後の不安定な環境
- ・VAT徴収手続きの変更影響

- トルコでの力強いモメンタムあるも、イラン・フィリピン・台湾での軟調により全体では数量減
- イランでは当初想定していなかった不安定な事業環境が継続
- 台湾は6月増税値上げ後の総需要減により減少。他社の価格戦略(一時的)によりシェアも減少。ただし足元のシェアは回復基調(9月シェア(8月比):+0.7ppt)**

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
**単月

22

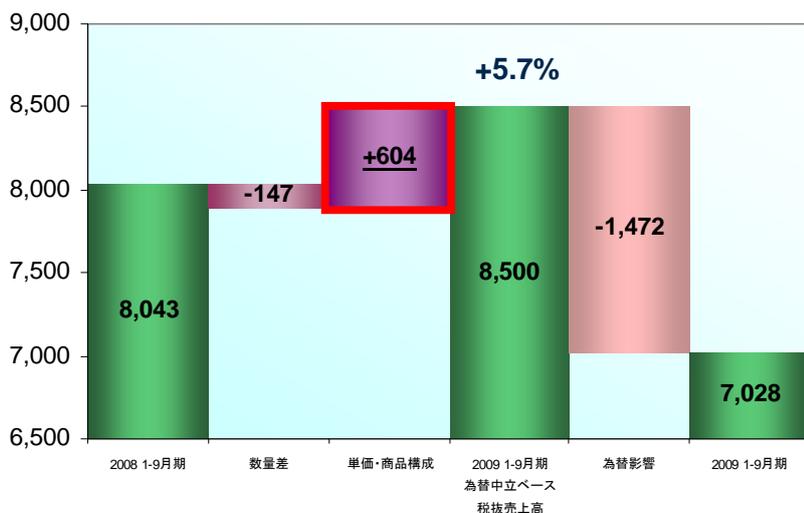


単価上昇効果の貢献

<速報値 1-9月>

(単位:百万US\$)

【税抜売上高* Roadmap: 08 to 09】



	増税	値上げ
Italy	-	2月
France	-	-
Spain	6月	1、6月
UK	4月	2、4月
Russia	1月	1、3月
Turkey	6月	3、7月
Taiwan	6月	6月

➤ 単価上昇効果が寄与し、為替中立ベースの税抜売上高5.7%成長

*物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除



2010年3月期 業績予想



業績予想 : Executive Summary

- 主に海外たばこ事業の為替前提の変更によりEBITDA見込を上方修正
- 海外たばこ事業の為替中立*ベースのEBITDA見込は13.0%の2桁成長
- 国内たばこ事業の販売数量、売上高、EBITDA変更なし
- 医薬事業では鳥居薬品の好調により売上高・EBITDA上方修正
- 食品事業は売上高・EBITDAを下方修正

*前年度の為替レートを使用した場合

25



2010年3月期 業績予想

(単位: 億円)	2008年度	2009年度		対実績 増減率 (c-a)/a	対当初見込 増減 c-b
	実績 a	当初見込 b	修正見込 c		
税抜売上高*	22,432	19,850	19,740	-12.0%	-110
EBITDA	6,462	4,750	5,050	-21.9%	+300
営業利益	3,638	2,440	2,720	-25.2%	+280
経常利益	3,075	2,270	2,350	-23.6%	+80
当期純利益	1,234	1,000	1,080	-12.5%	+80
(のれんの償却前)					
当期純利益**	2,289	1,970	2,050	-10.4%	+80

- 主に海外たばこ事業の為替前提見直しにより利益指標を上方修正

*国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他及び
海外たばこ事業における物流事業、Private Brand、製造受託、その他を控除
**のれん償却前

26



国内たばこ事業：2010年3月期 業績予想

(単位: 億円)	2008年度	2009年度		対実績 増減率 (c-a)/a	対当初見込 増減 c-b
	実績 a	当初見込 b	修正見込 c		
JT販売数量	1,599	1,525	1,525	-4.6%	0
税売上高*	6,488	6,190	6,190	-4.6%	0
EBITDA	2,722	2,460	2,460	-9.7%	0
営業利益	1,882	1,880	1,900	+0.9%	+20

- taspo影響は想定通りに推移し、販売数量、売上高およびEBITDAは当初見込から変更なし

*輸入たばこ/国内免税/中国事業/その他を控除

27



海外たばこ事業：2010年3月期 業績予想

(単位: 億本, 億円)	2008年度	2009年度		対前年実績 増減率 (c-a)/a	対当初見込 増減 c-b
	実績 a	当初見込 b	修正見込 c		
総販売数量*	4,459	4,560	4,320	-3.1%	-240
GFB販売数量	2,455	2,620	2,420	-1.4%	-200
税売上高**	10,808	8,900	8,820	-18.4%	-80
EBITDA***	3,379	2,090	2,400	-29.0%	+310
(単位: 百万US\$)					
税売上高**	10,445	9,370	9,480	-9.2%	+110
為替中立ベース税売上高**	10,445	11,920	11,090	+6.2%	-830
EBITDA****	3,452	2,500	2,880	-16.6%	+380
為替中立ベースEBITDA****	3,452	4,100	3,900	+13.0%	-200

- 為替中立ベースの税売上高、EBITDAは6.2%、13.0%成長の見込
- 販売数量は2008年度実績との比較で△3.1%を想定

*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

**物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除

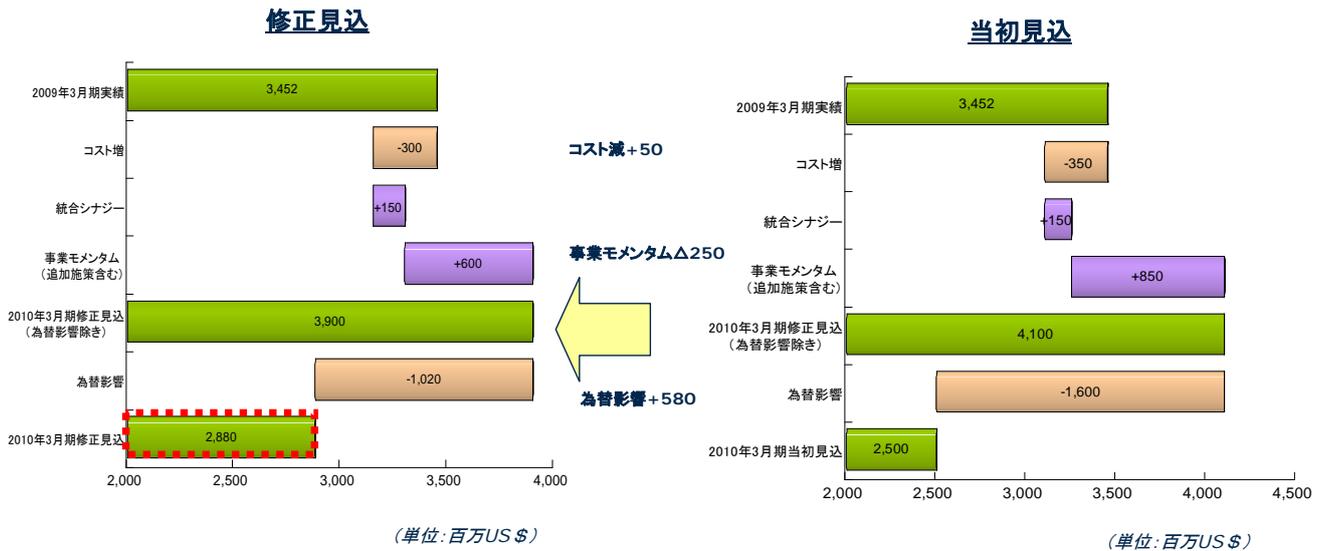
***JTへのロイヤリティ支払い後

****JTへのロイヤリティ支払い前

28



海外たばこ事業 : EBITDA Roadmap<08年度実績⇒修正見込み>



- 主に販売数量下方修正により為替中立EBITDAを200MMUS\$下方修正も、13.0%の2桁成長を見込む
- 為替前提見直しは580MMUS\$のプラス影響
- 以上から2010年3月期のEBITDAを380MMUS\$上方修正し、2,880MMUS\$



海外たばこ事業 : 前提為替レート

	2009年度 当初通期見込 a	2009年度 修正通期見込 b	2009年度 1-9月期 期中平均レート c	2009年度 10-12月 平均レート d	対09年度 当初見込 増減率 b対a
RUB/USD	36.00	32.25	32.54	31.3	11.6%高
GBP/USD	0.73	0.65	0.66	0.61	13.0%高
EUR/USD	0.81	0.73	0.74	0.70	10.8%高
JPY/USD	95.00	93.00	94.96	87.2	2.2%高

- 直近までの為替レートの推移を勘案し為替前提見直し



医薬事業：2010年3月期 業績予想

(単位: 億円)	2008年度	2009年度		対実績 増減 c-a	対当初見込 増減 c-b
	実績 a	当初見込 b	修正見込 c		
売上高	567	430	440	-127	+10
EBITDA	48	△ 125	△ 110	-158	+15
営業利益	10	△ 165	△ 150	-160	+15

➤ 鳥居薬品の好調により売上高・EBITDA上方修正

31

ひとの
ときを、
想う。 JT

食品事業：2010年3月期 業績予想

(単位: 億円)	2008年度	2009年度		対実績 増減 c-a	対当初見込 増減 c-b
	実績 a	当初見込 b	修正見込 c		
売上高	4,359	4,130	4,090	-269	-40
EBITDA	170	180	155	-15	-25
営業利益	△ 114	△ 80	△ 125	-10	-45

KATOKICHI 2010.01.01 TableMark



- 景気後退に伴う消費低迷の長期化や競争激化等の影響により売上高を下方修正
- EBITDAについては、コスト削減・営業努力等により当初見込み同水準を目指すも、一部市況品の急激な市場価格下落の動向を織り込んだこと等から、下方修正
- 加ト吉が、2010年1月より、社名を「テーブルマーク株式会社」に変更

32

ひとの
ときを、
想う。 JT

ひとの
ときを、
想う。 JT

<Back up data>

***All the Detailed figures comes to
<Back up data>***

当資料取扱上の注意点

将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

<Back up data No.1 >海外たばこ事業 2010年3月期 第2四半期実績(JPYベース)

<JPY・開示ベース>

(単位:億円)

	2008 1-6月期	2009 1-6月期	増減
税込売上高	15,641	12,457	-3,184 (-20.4%)
税抜売上高*	5,345	4,350	-994 (-18.6%)
EBITDA**	1,849	1,302	-547 (-29.6%)
営業利益	1,001	598	-402 (-40.2%)
JPY/USD	104.89	95.59	-9.30 (9.7%高)

*物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除

**JTへのロイヤリティ支払い後

<Back up data No.2 > GFB販売数量

<速報値 1-9月>

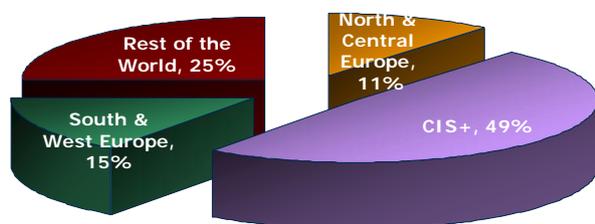
(単位: 億本)	2008 1-9月期	2009 1-9月期	増減
GFB volume	1,855	1,824	-1.7%
Winston	956	905	-5.3%
Camel	324	314	-3.2%
Mild Seven	140	137	-2.4%
B&H	87	83	-5.0%
Silk Cut	40	36	-8.5%
LD	214	254	+18.7%
Sobranie	18	11	-39.2%
Glamour	76	84	+10.9%



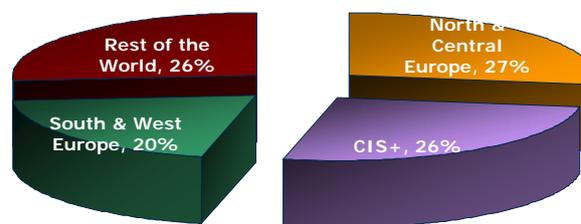
<Back up data No.3> 2009年1-9月期 リージョン別構成比

<速報値 1-9月>

販売数量*



税抜売上高**



*Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み
**物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除

【参考資料】

2010年3月期 第2四半期実績 および 2010年3月期 業績予想 における増減要因の分析



当資料取扱上の注意点

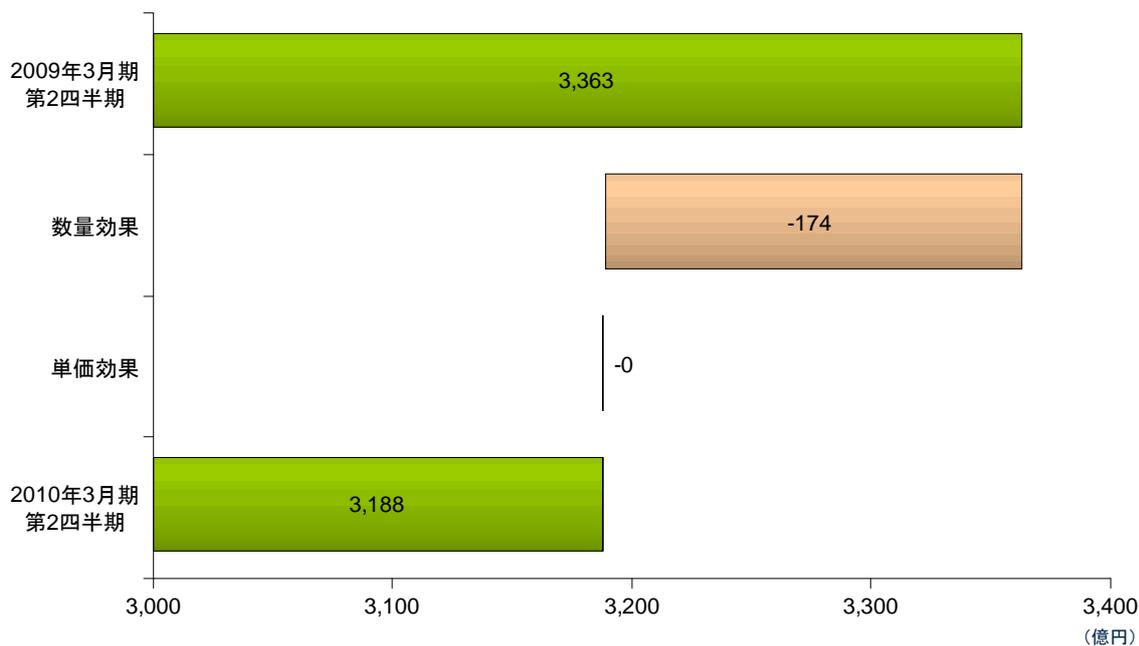
将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なおかかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

2010年3月期 第2四半期 実績

国内たばこ事業 税抜売上高*



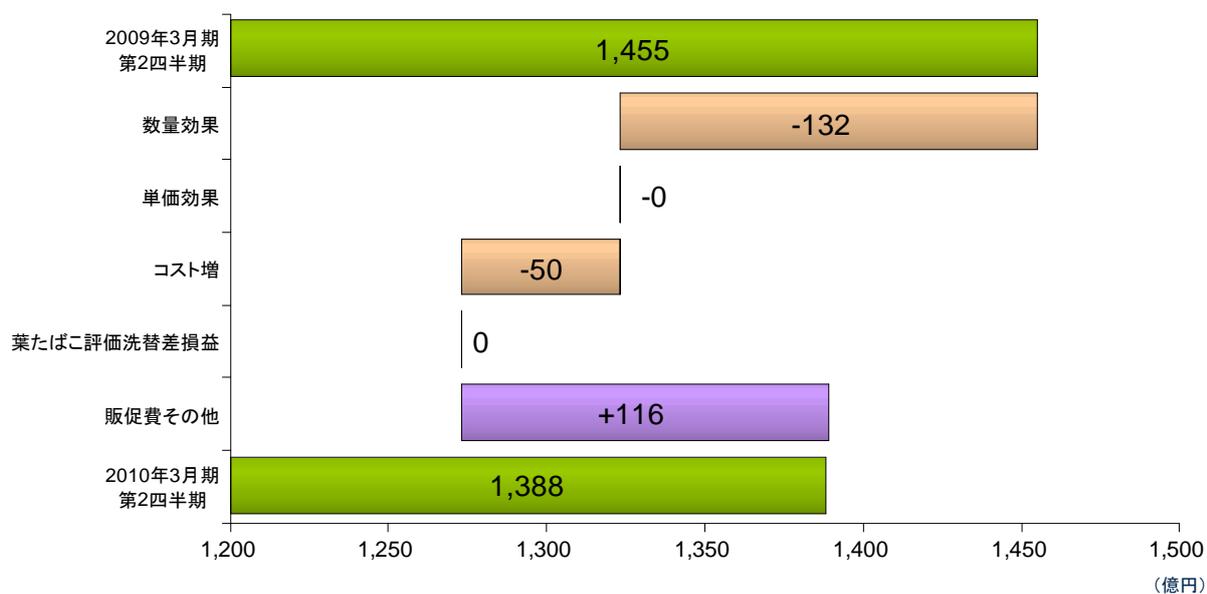
* 輸入たばこ/国内免税/中国事業/その他を控除

41

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 第2四半期 実績

国内たばこ事業 EBITDA

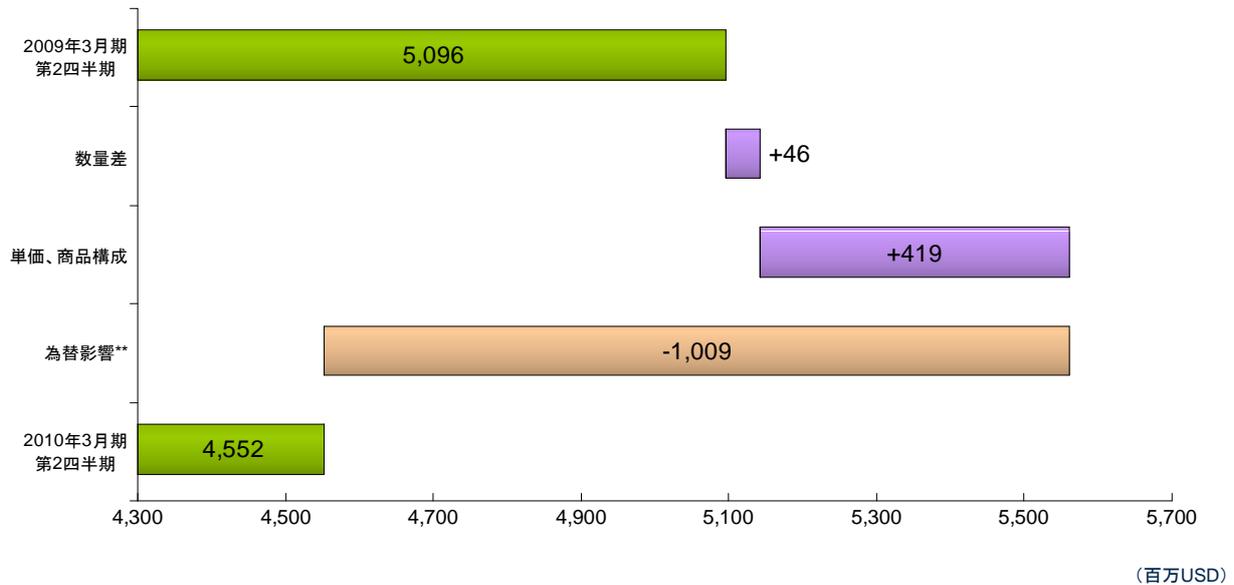


42

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 第2四半期 実績

海外たばこ事業 税抜売上高*



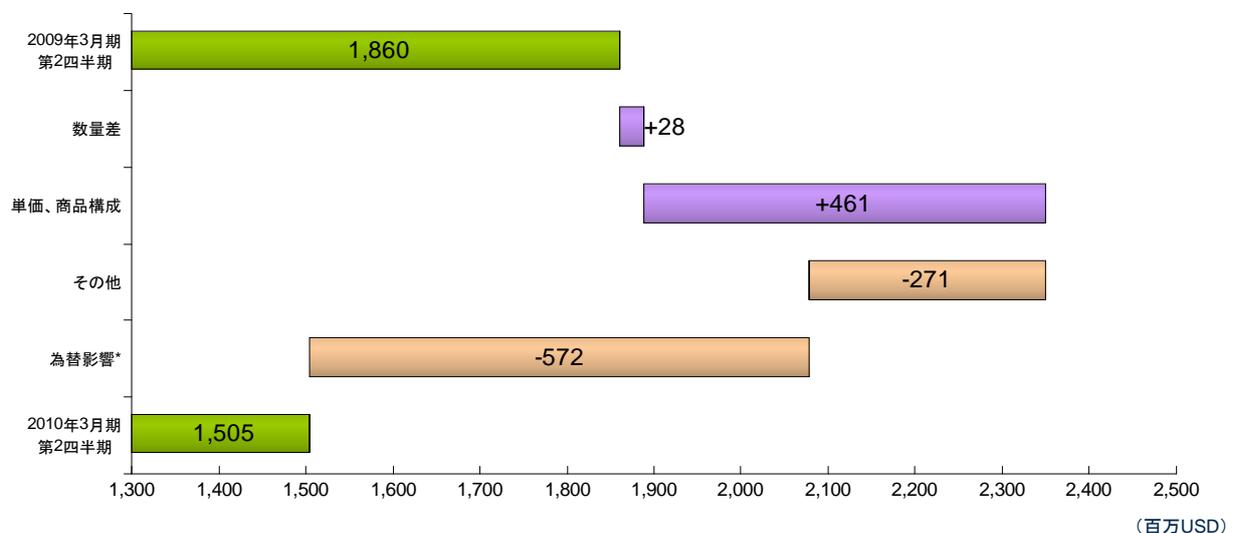
* 物流事業/Private Brand/製造受託/その他を控除
 ** USDと各現地通貨との間の為替影響

43



2010年3月期 第2四半期 実績

海外たばこ事業 EBITDA (JTへのロイヤリティ支払前)



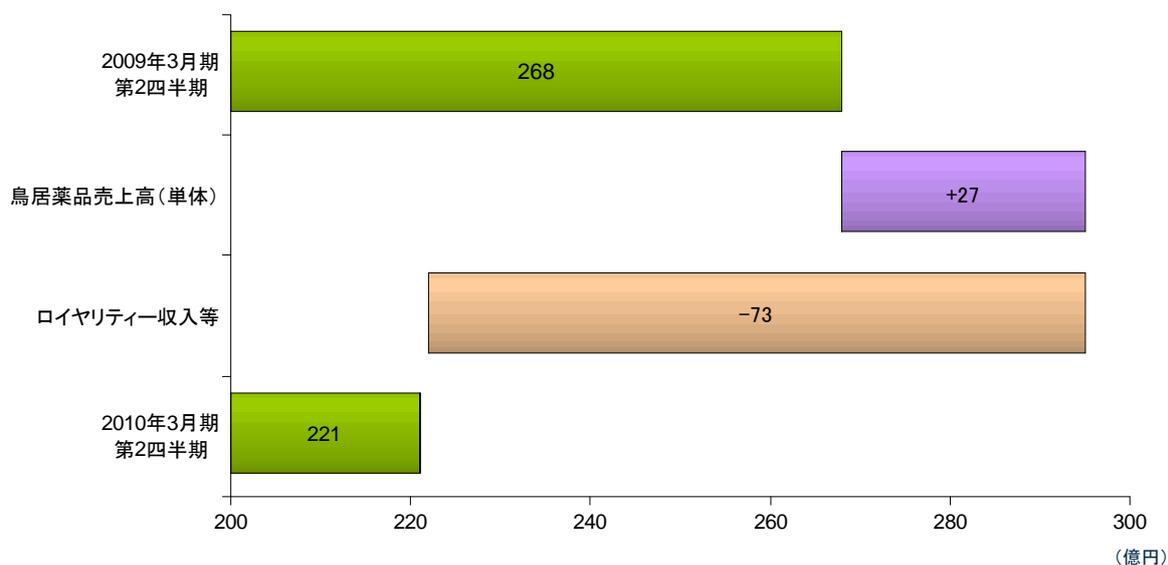
* USDと各現地通貨との間の為替影響

44



2010年3月期 第2四半期 実績

■医薬事業 売上高

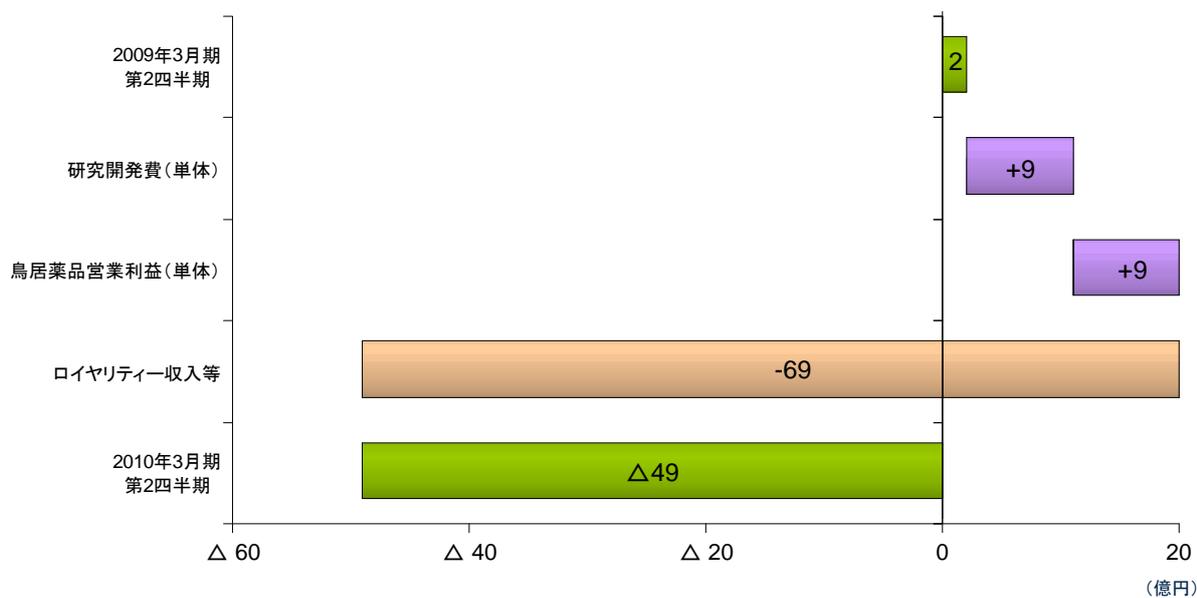


45



2010年3月期 第2四半期 実績

■医薬事業 EBITDA

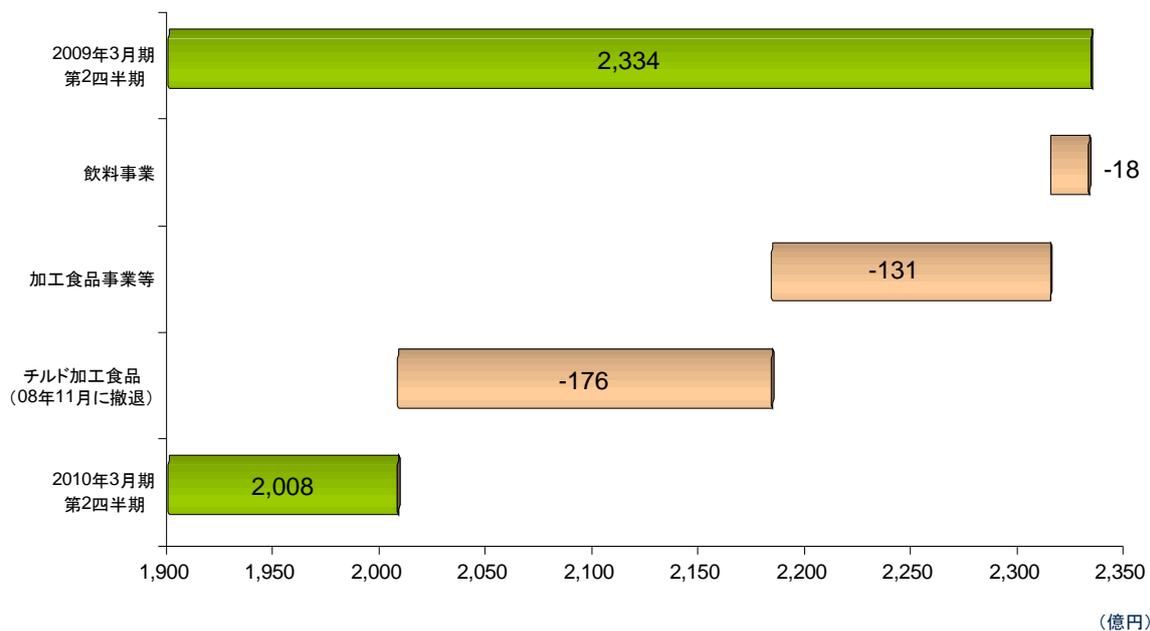


46



2010年3月期 第2四半期 実績

■食品事業 売上高

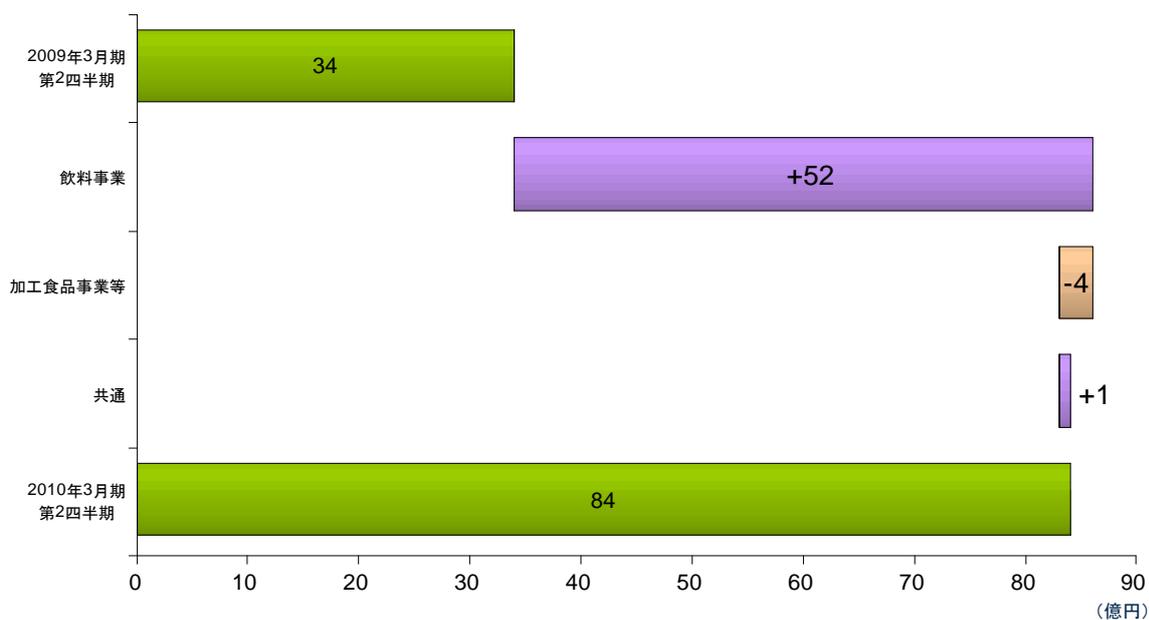


47



2010年3月期 第2四半期 実績

■食品事業 EBITDA

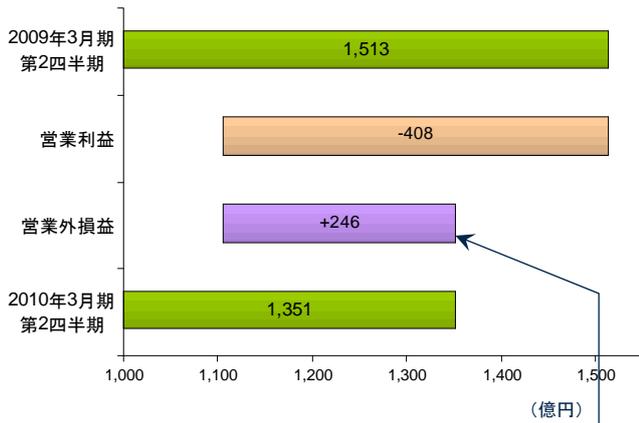


48



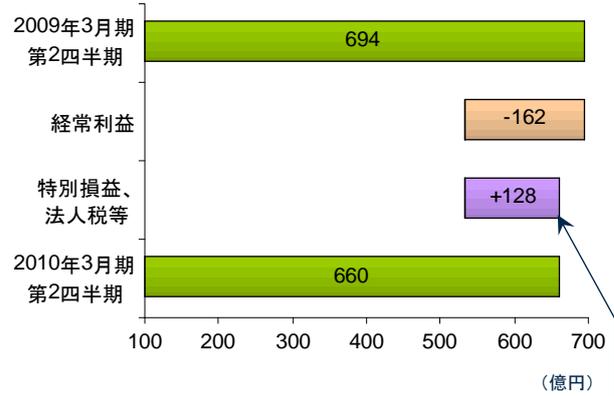
2010年3月期 第2四半期 実績

■ 経常利益



改善要因: 為替差損益の改善: 194億円
支払利息の減: 98億円
悪化要因: 受取利息の減: 18億円
受取配当金の減: 2億円 等

■ 当期純利益

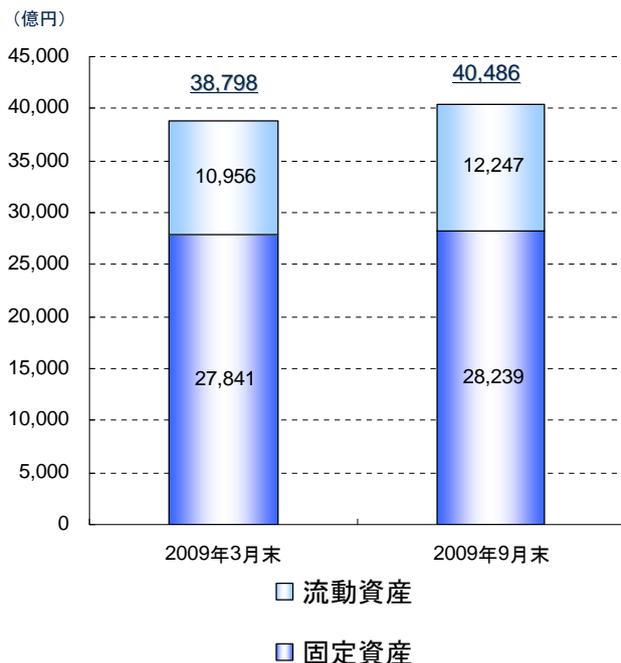


改善要因: 減損損失の減: 101億円
成人識別自動販売機導入費用の減: 110億円
固定資産除却損の減: 45億円
悪化要因: 固定資産売却益の減: 108億円 等

(このスライドは空白です)

2010年3月期 第2四半期 連結貸借対照表のポイント

■ 資産の部



2009年3月末との比較

- 流動資産は1,290億円増加
 - ◆ たな卸資産の増加 651億円
 - ◆ 受取手形及び売掛金の増加 409億円
- 固定資産は397億円増加
 - ◆ のれんの増加 263億円
 - ◆ 商標権の増加 363億円

2010年3月期 第2四半期 連結貸借対照表のポイント

■ 負債・純資産の部

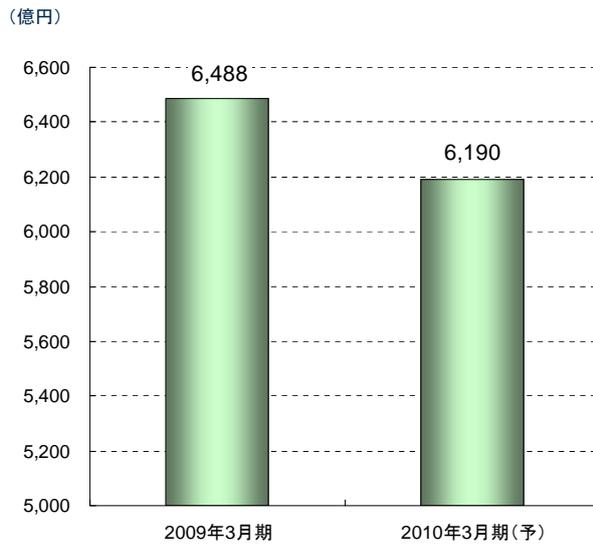


2009年3月末との比較

- 負債合計は484億円増加
 - ◆ 未払たばこ税の増加 +423億円
- 純資産合計は1,203億円増加
 - ◆ 為替換算調整勘定のマイナス幅の縮小 +784億円
- 自己資本比率 40.0% → 41.3%

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

国内たばこ事業 税抜売上高*



【主な減少要因】

・JT販売数量の減

1,599億本 → 1,525億本: Δ 74億本

*輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他を控除

53

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

国内たばこ事業 EBITDA



【主な減少要因】

・JT販売数量の減(Δ 74億本): 約230億円

・コスト増、その他: 約30億円

54

ひとの
ときを、
想う。 JT

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 海外たばこ事業 税抜売上高* (ドルベース)



【主な減少要因】

- ・単価上昇効果によりトップライン成長は継続するものの、為替の影響により減収

(参考) 連結円ドルレート 103.48円 → 93.00円 (10.48円高)

*物流事業、PB、製造受託、その他を控除

55



2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 海外たばこ事業 EBITDA*(ドルベース)



【主な減少要因】

- ・単価上昇効果によりトップライン成長は継続するものの、為替の影響により減益

(参考) セグメント情報ベース

海外たばこ事業 EBITDA** 3,379億円 → 2,400億円 (979億円減)
 連結円ドルレート 103.48円 → 93.00円 (10.48円高)

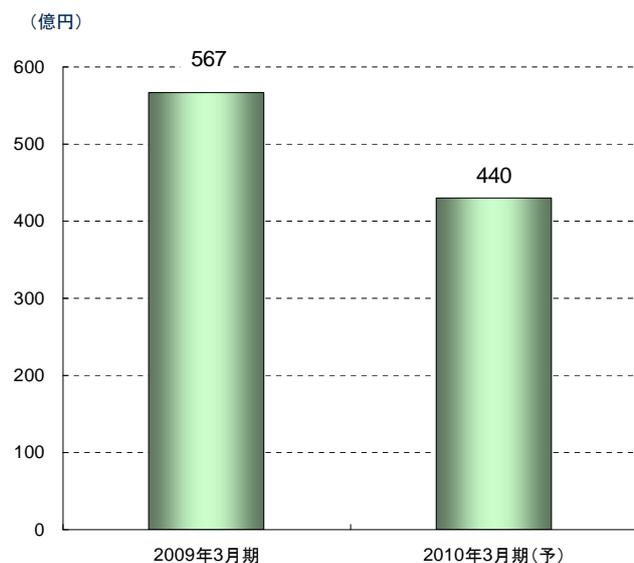
*JTへのロイヤリティ支払い前
 **JTへのロイヤリティ支払い後

56



2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 医薬事業 売上高



【主な増加要因】

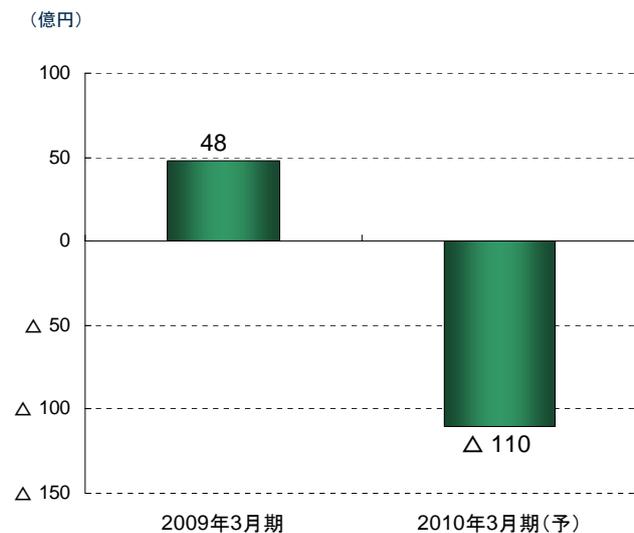
・鳥居薬品の売上高: 373億円→429億円(+56億円)

【主な減少要因】

・2009年3月期にあった一時金収入等がないことによる減収

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 医薬事業 EBITDA



【主な増加要因】

・鳥居薬品の営業利益増

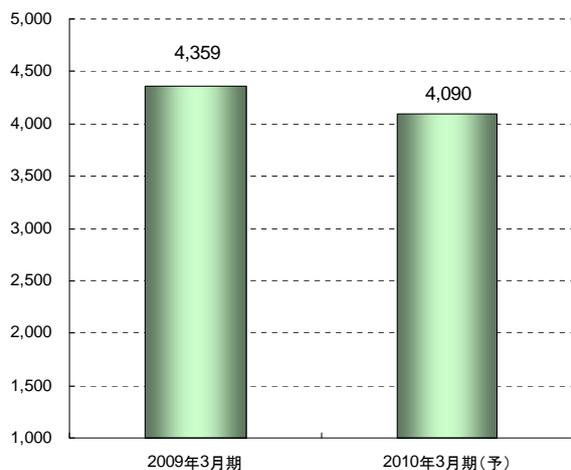
【主な減少要因】

・2009年3月期にあった一時金収入等がないことによる減益

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 売上高

(億円)



【主な増加要因】

- ・基幹ブランド「ルーツ」の更なる強化

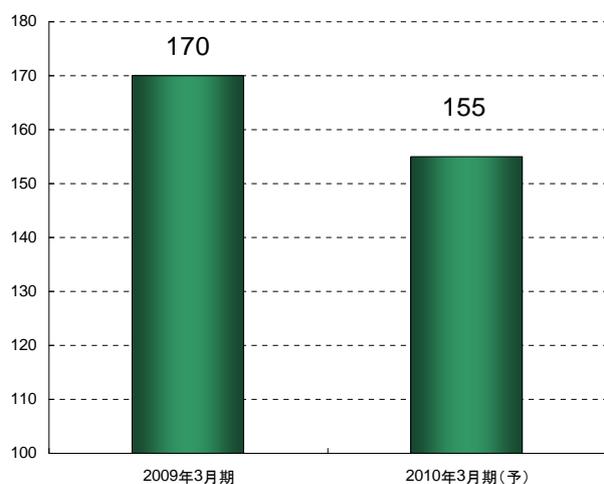
【主な減少要因】

- ・チルド加工食品からの撤退
- ・一部子会社を連結対象外とした影響

2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 食品事業 EBITDA

(億円)

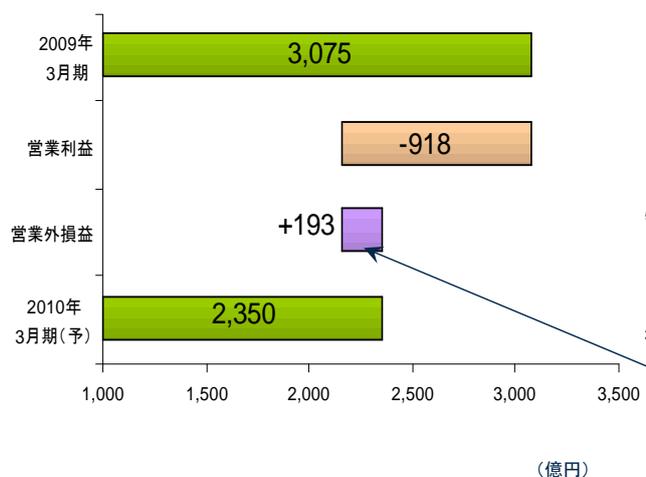


【主な減少要因】

- ・一部市況品の急激な市場価格下落の動向を織り込む
 - ・売掛債権の一部について回収遅延に伴う貸倒引当を計上
- ⇒ 上記影響を除けば前年比較で微増

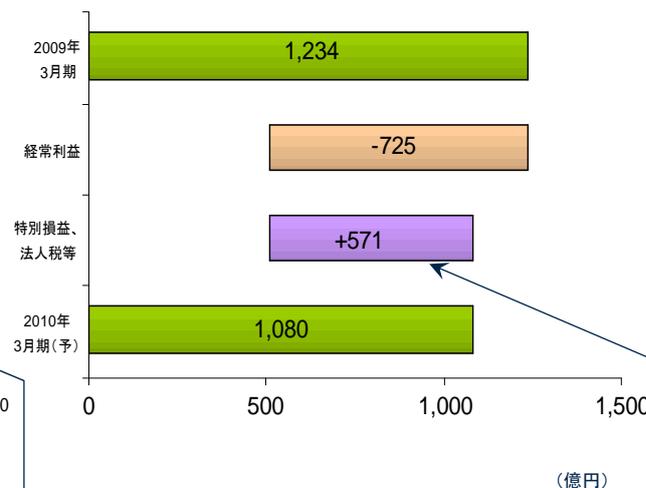
2010年3月期 業績予想_対前年度実績

■ 経常利益



改善要因: 有利子負債の返済に伴う支払利息の減少 等

■ 当期純利益



改善要因: 成人識別自販機導入費用負担の減少 等

悪化要因: 固定資産売却益の減少 等

(このスライドは空白です)

2010年3月期 第2四半期 決算データ集(1)

1.業績ハイライト

(単位:億円)

	08年9月期	09年9月期	増減
税込売上高	34,970	30,542	△ 4,428
税抜売上高 ^(注)	11,413	9,867	△ 1,546
EBITDA	3,453	2,793	△ 659
営業利益	2,045	1,637	△ 408
経常利益	1,513	1,351	△ 162
四半期純利益	694	660	△ 34

(注): 国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他および海外たばこ事業における物流事業、PB、製造委託、その他を控除

(参考: のれんの償却影響を除く主要利益)

営業利益	2,578	2,133	△ 445
経常利益	2,046	1,847	△ 199
四半期純利益	1,227	1,156	△ 70

6.主要投資案件の諸償却費

(単位:億円)

JT	08年9月期	09年9月期	償却年数	終了
旧RJRI関連				
商標権	146	28	10年	'09年4月
加ト吉関連				
のれん ^(注)	46	55	5年	'12年12月

(注): 09年9月期の実績: 加ト吉子会社ののれんの一括償却を含む

(単位:百万ドル)

JTインターナショナル	08年6月期	09年6月期	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連			
商標権 ^(注)	143	116	主に20年
のれん	453	452	20年

(注): 商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

7.資本的支出

(単位:億円)

	08年9月期	09年9月期	増減
資本的支出	488	554	65
国内たばこ事業	194	195	1
海外たばこ事業 ^(注)	186	238	52
医薬事業	16	13	△ 3
食品事業	56	103	47
その他事業	33	2	△ 30

(注): 海外たばこ事業は、1-6月期の実績

8.手元流動性^(注)

(単位:億円)

	09年3月末	09年9月末	増減
手元流動性	1,698	1,591	△ 107

(注): 手元流動性=現金+有価証券+現金

9.有利子負債^(注)

(単位:億円)

	09年3月末	09年9月末	増減
有利子負債	9,960	10,047	86

(注): 有利子負債=短期借入金+CP+社債+長期借入金+リース債務

10.主な事業関連数

【国内たばこ事業】	08年9月期	09年9月期	増減
JT販売数量 ^(注)	829	786	△ 43
国内総需要	1,277	1,210	△ 67
JT販売数量シェア	64.9%	65.0%	0.1%pt
JT千本当税込売上高	12,696	12,691	△ 5
JT千本当税抜売上高	4,055	4,055	0

(注): JT販売数量には国内免税販売分及び中国事業部分を含まない。当該数量は、2008年9月期19億本、2009年9月期18億本。

【海外たばこ事業】	08年6月期	09年6月期	増減
販売数量 ^(注)	2,180	2,161	△ 19
GFB販売数量	1,192	1,213	22
連結円ドルレート	104.89	95.59	△ 9.30

(注): Private Brand、製造委託を除き、Cigar/Pipe/Smus込み

【医薬事業】	08年9月期	09年9月期	増減
研究開発費(単体)	121	111	△ 9

【食品事業-飲料事業】	09年3月末	09年9月末	増減
自動販売機台数 ^(注)	254,000	255,000	1,000
うちマーキング機	32,000	32,000	0
うちコンビ機	76,500	81,000	4,500

(注): 自動販売機台数には、関係会社が運営する他社機(缶・ブリック等)及びカップ機を含む。「マーキング機」とは当社所有の自動販売機を指し、「コンビ機」とは関係会社所有で他社の製品も取り扱っているが、JT製品の露出を積極的に行う自動販売機を指す。

2.売上高の内訳

(単位:億円)

	08年9月期	09年9月期	増減
全社税込売上高 ^(注1)	34,970	30,542	△ 4,428
国内たばこ事業	16,623	15,757	△ 866
海外たばこ事業 ^(注1)	15,641	12,457	△ 3,184
全社税抜売上高 ^{(注1)(注2)(注3)}	11,413	9,867	△ 1,546
国内たばこ事業 ^(注2)	3,363	3,188	△ 174
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	5,345	4,350	△ 994
医薬事業	268	221	△ 46
食品事業	2,334	2,008	△ 326
飲料事業	983	964	△ 18
加工食品事業	1,351	1,043	△ 307
その他事業	102	98	△ 4

(注1): 海外たばこ事業は、1-6月期の実績

(注2): 国内たばこ事業の輸入たばこ事業、国内免税、中国、その他を除いた実績

(注3): 海外たばこ事業の物流事業、PB、製造委託、その他を控除した実績

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業			
税抜売上高 ^{(注1)(注3)}	5,096	4,552	△ 544

3.業たばこ評価洗替差損益^(注)

(単位:億円)

	08年9月期	09年9月期	増減
業たばこ評価洗替差損益	△ 20	△ 20	-

(注): マイナス表示の場合は評価益

4.販売費及び一般管理費の内訳

(単位:億円)

	08年9月期	09年9月期	増減
販売費及び一般管理費	4,464	3,962	△ 501
人件費 ^(注)	1,172	1,084	△ 87
広告宣伝費	124	88	△ 36
販売促進費	807	665	△ 141
研究開発費	252	245	△ 6
減価償却費	439	376	△ 62
その他	1,668	1,501	△ 166

(注): 人件費=報酬・給料手当+退職給付費用+法定福利費+従業員賞与+賞与引当金繰入額

5.事業セグメント別EBITDA^(注1)

(単位:億円)

	08年9月期	09年9月期	増減
全社EBITDA	3,453	2,793	△ 659
営業利益	2,045	1,637	△ 408
減価償却費 ^(注2)	1,407	1,155	△ 251
国内たばこ事業EBITDA ^(注3)	1,455	1,388	△ 66
営業利益	1,056	1,108	52
減価償却費 ^(注2)	399	280	△ 119
海外たばこ事業EBITDA ^(注3)	1,849	1,302	△ 547
営業利益	1,001	598	△ 402
減価償却費 ^(注2)	848	703	△ 144
医薬事業EBITDA	2	△ 49	△ 51
営業利益	△ 15	△ 68	△ 52
減価償却費 ^(注2)	18	18	0
食品事業EBITDA	34	84	49
営業利益	△ 56	△ 56	0
減価償却費 ^(注2)	91	140	49
その他事業EBITDA	104	66	△ 37
営業利益	50	55	4
減価償却費 ^(注2)	53	11	△ 41

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業EBITDA (ロイヤリティー支払前)	1,860	1,505	△ 354
-------------------------------	-------	-------	-------

(注1): EBITDA=営業利益+減価償却費^(注2)

(注2): 減価償却費=有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却費

(注3): 海外たばこ事業は、1-6月期の実績

1. 2010年3月期連結業績予想(当初見込比較)

(単位:億円)

	当初見込	今回見込	増減
税込売上高	60,000	60,900	900
EBITDA	4,750	5,050	300
営業利益	2,440	2,720	280
経常利益	2,270	2,350	80
当期純利益	1,000	1,080	80
ROE(株主資本利益率)	6.2%	6.8%	0.6%pt
フリーキャッシュフロー	1,690	1,690	0

(参考:のれんの償却影響を除く当期純利益)

当期純利益	1,970	2,050	80
-------	-------	-------	----

(単位:億円)

	当初見込	今回見込	増減
資本的支出	1,660	1,620	△ 40
国内たばこ事業	650	590	△ 60
海外たばこ事業	640	620	△ 20
医薬事業	30	30	0
食品事業	320	350	30
その他事業	10	10	0

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	当初見込	今回見込	増減
税込売上高 ^(注1)	60,000	60,900	900
国内たばこ事業	30,480	30,480	0
海外たばこ事業 ^(注1)	24,750	25,770	1,020
税抜売上高 ^{(注1)(注2)(注3)}	19,850	19,740	△ 110
国内たばこ事業 ^(注2)	6,190	6,190	0
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	8,900	8,820	△ 80
医薬事業	430	440	10
食品事業	4,130	4,090	△ 40
EBITDA	4,750	5,050	300
国内たばこ事業	2,460	2,460	0
海外たばこ事業	2,090	2,400	310
医薬事業	△ 125	△ 110	15
食品事業	180	155	△ 25
営業利益	2,440	2,720	280
国内たばこ事業	1,880	1,900	20
海外たばこ事業	710	1,000	290
医薬事業	△ 165	△ 150	15
食品事業	△ 80	△ 125	△ 45
減価償却費	2,310	2,330	20
国内たばこ事業	580	560	△ 20
海外たばこ事業	1,380	1,400	20
医薬事業	40	40	0
食品事業	260	280	20

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業	9,370	9,480	110
税抜売上高 ^{(注1)(注3)}	2,500	2,880	380
海外たばこ事業EBITDA ^(注1) (ロイヤリティ支払前)			

(注1):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国、その他を控除

(注3):海外たばこ事業の物流事業、PB、製造受託、その他を控除

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業

(単位:億本)

	当初見込	今回見込	増減
販売数量	1,525	1,525	0

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

(単位:億本、円)

	当初見込	今回見込	増減
販売数量	4,560	4,320	△ 240
GFB販売数量	2,620	2,420	△ 200
円/USドルレート	95.00	93.00	△ 2.00

※Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件ののれん償却費

海外たばこ事業

(単位:百万ドル)

	08年12月期 実績	09年12月期 今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	910	910	20年

(注):のれんの償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

食品事業

(単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見込	償却年数
加ト吉関連	92	102	5年

(注):のれんの償却終了は、'12年12月 2010年3月期は加ト吉子会社の一括償却10億円を含む

2. 2010年3月期連結業績予想(前期実績比較)

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高	68,323	60,900	△ 7,423
EBITDA	6,462	5,050	△ 1,412
営業利益	3,638	2,720	△ 918
経常利益	3,075	2,350	△ 725
当期純利益	1,234	1,080	△ 154
ROE(株主資本利益率)	6.8%	6.8%	0.0%pt
フリーキャッシュフロー	2,401	1,690	△ 711

(参考:のれんの償却影響を除く当期純利益)

当期純利益	2,289	2,050	△ 239
-------	-------	-------	-------

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
資本的支出	1,342	1,620	277
国内たばこ事業	465	590	124
海外たばこ事業	597	620	22
医薬事業	34	30	△ 4
食品事業	232	350	117
その他事業	11	10	△ 1

事業セグメント別業績予想

(単位:億円)

	前期実績	今回見込	増減
税込売上高 ^(注1)	68,323	60,900	△ 7,423
国内たばこ事業	32,004	30,480	△ 1,524
海外たばこ事業 ^(注1)	31,183	25,770	△ 5,413
税抜売上高 ^{(注1)(注2)(注3)}	22,432	19,740	△ 2,692
国内たばこ事業 ^(注2)	6,488	6,190	△ 298
海外たばこ事業 ^{(注1)(注3)}	10,808	8,820	△ 1,988
医薬事業	567	440	△ 127
食品事業	4,359	4,090	△ 269
EBITDA	6,462	5,050	△ 1,412
国内たばこ事業	2,722	2,460	△ 262
海外たばこ事業	3,379	2,400	△ 979
医薬事業	48	△ 110	△ 158
食品事業	170	155	△ 15
営業利益	3,638	2,720	△ 918
国内たばこ事業	1,882	1,900	17
海外たばこ事業	1,747	1,000	△ 747
医薬事業	10	△ 150	△ 160
食品事業	△ 114	△ 125	△ 10
減価償却費	2,824	2,330	△ 494
国内たばこ事業	840	560	△ 280
海外たばこ事業	1,631	1,400	△ 231
医薬事業	38	40	1
食品事業	284	280	△ 4

(参考)

(単位:百万ドル)

海外たばこ事業	10,445	9,480	△ 965
税抜売上高 ^{(注1)(注3)}	3,452	2,880	△ 571
海外たばこ事業EBITDA ^(注1) (ロイヤリティ支払前)			

(注1):海外たばこ事業は、1-12月期の実績

(注2):国内たばこ事業の輸入たばこ、国内免税、中国、その他を控除

(注3):海外たばこ事業の物流事業、PB、製造受託、その他を控除

業績予想の主な前提条件

(1)国内たばこ事業

(単位:億本)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	1,599	1,525	△ 74

※販売数量からは国内免税販売分及び中国事業部分を除く。

(2)海外たばこ事業

(単位:億本、円)

	前期実績	今回見込	増減
販売数量	4,459	4,320	△ 139
GFB販売数量	2,455	2,420	△ 35
円/USドルレート	103.48	93.00	△ 10.48

※Private Brand、製造受託を除き、Cigar/Pipe/Snus込み

主要投資案件の商標権償却費

JT

(単位:億円)

	09年3月期 実績	10年3月期 今回見込	償却年数
旧RJRI関連	294	24	10年

(注):商標権の償却終了は、'09年4月

JTインターナショナル

(単位:百万ドル)

	08年12月期 実績	09年12月期 今回見込	償却年数
旧RJRI及び旧Gallaher関連	273	240	主に20年

(注):商標権の償却終了は、旧RJRIが'19年4月、旧Gallaherが'27年3月

国内JT製品データ集

(注)：表中の数値には中国、香港、マカオ市場および国内免税市場販売分は含まれておりません。

国内たばこ事業関係係数

1. 四半期別販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	427	430	437	382	1,677
2008年度	420	408	407	362	1,599
2009年度	390	395			

2. 四半期別定価代金

(単位：億円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	6,367	6,414	6,516	5,700	24,998
2008年度	6,269	6,086	6,073	5,399	23,828
2009年度	5,817	5,891			

(注)：販売定価代金 = 販売数量 × 小売定価

3. 四半期別千本当売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	12,698	12,694	12,704	12,702	12,699
2008年度	12,699	12,693	12,699	12,699	12,698
2009年度	12,693	12,689			

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当売上高 = (販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税) / 販売数量 × 1,000

4. 四半期別千本当税売上高

(単位：円)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	4,056	4,053	4,063	4,057	4,057
2008年度	4,056	4,054	4,060	4,058	4,057
2009年度	4,056	4,055			

(注)：本項目では、販売定価代金から販売店マージン、消費税を差し引いたものを売上高としております。
千本当税売上高 = { 販売定価代金 - 販売店マージン - 消費税 - たばこ税(国税) - たばこ税(地方税) - たばこ特別税(国税) } / 販売数量 × 1,000

5. 四半期別シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	64.9	64.5	65.3	65.0	64.9
2008年度	64.9	64.9	65.2	65.2	65.1
2009年度	65.1	64.8			

伸張セグメントシェア

1. 四半期別ターール1mgセグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	13.9	13.7	14.0	14.3	14.0
2008年度	14.5	14.5	14.9	14.9	14.7
2009年度	14.9	14.8			

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	22.4	22.3	22.5	23.0	22.5
2008年度	23.2	23.0	23.5	23.7	23.3
2009年度	23.9	23.8			

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	62.0	61.6	62.1	62.0	61.9
2008年度	62.4	63.0	63.3	62.8	62.9
2009年度	62.3	62.2			

2. 四半期別メンソールセグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	7.2	7.5	7.2	7.5	7.4
2008年度	7.5	7.4	7.8	7.7	7.6
2009年度	7.6	7.9			

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	20.7	21.4	21.2	21.8	21.3
2008年度	21.9	22.1	22.2	22.4	22.1
2009年度	22.6	23.2			

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	34.9	35.2	34.0	34.4	34.6
2008年度	34.3	33.5	35.0	34.5	34.3
2009年度	33.8	34.2			

3. 四半期別320円以上製品セグメントシェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	5.6	5.2	5.4	5.3	5.4
2008年度	5.2	5.0	5.4	5.2	5.2
2009年度	5.1	5.0			

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	23.7	23.7	24.1	24.0	23.9
2008年度	23.9	24.0	24.6	24.5	24.2
2009年度	23.9	23.8			

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	23.5	22.0	22.5	21.9	22.5
2008年度	21.7	20.7	22.2	21.4	21.5
2009年度	21.3	21.0			

* 2006年4-6月期以前は300円以上製品セグメント

4. 四半期別D-spec製品シェア

(単位：%)

	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期
2007年度	4.41	4.10	4.77	5.13	4.59
2008年度	5.10	4.82	5.04	4.85	4.96
2009年度	4.76	4.66			

* ビアニッソモ及びプレミアは2006年3月より、ベヴェル・フレアは2006年12月より、D-spec製品として販売しております。

医薬事業 臨床開発品目（2009年10月29日現在）

開発名	開発段階	主な適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-130 (経口)	国内：Phase2 海外：Phase2	脂質異常症	MTP（ミクロソームトリグリセリド転送蛋白）阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出（同社ではPhase3）
JTT-302 (経口)	海外：Phase2	脂質異常症	CETP（コレステリルエステル転送蛋白）阻害	HDL（高密度リポ蛋白：善玉コレステロール）中のコレステロールをLDL（低密度リポ蛋白：悪玉コレステロール）に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内：Phase2	骨粗鬆症	CaSR（カルシウム感知受容体）拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653 (経口)	国内：Phase1	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1（パノロイド受容体1）阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTT-654 (経口)	国内：Phase1 海外：Phase2	2型糖尿病	HSD-1（11βヒドロキシステロイド脱水素酵素）阻害	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する	
JTK-656 (経口)	海外：Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV（ヒト免疫不全ウイルス）の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 (経口)	国内：Phase2	高リン血症	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出（鳥居薬品と共同開発）

前回（2009年7月30日）公表時からの変更点：

JTT-654 海外臨床試験Phase1からPhase2へ移行